

# 教育班便り

1月号①

- 重点1 豊かな心と健やかな体の育成
- 重点2 確かな学力の育成
- 重点3 家庭・地域と連携・協働した  
創意ある学校づくりの推進

新年を迎え、今年度も残り3か月となりました。当教育事務所における各種研修会も、皆様の御協力により、予定通り実施することができております。ありがとうございます。今後とも御協力の程よろしくお願いいたします。

さて、教育班便り1月号は2回に分けて発行します。今回は、初任者研修（2年目）と第1回管内教科等指導力向上研修会、初任者研修（1年目）について御紹介いたします。

## 初任者研修（2年目）「事務所研修2」 8月23日（水）



午前中に課題研究の中間発表、午後には指導案検討と模擬授業を行いました。振り返りでは、「指導主事から助言を受け、生徒主体の授業づくりの大切さを実感した」「単元のまとまりの中で一単位の授業を考えることの必要性に気付いた」「2年研の仲間と教師のやりがいや悩みを共有できて良かった」などが挙げられました。夏季休業明けの課題研究の取組に見通しを持つことができた研修会となりました。

## 第1回管内教科等指導力向上研修会 10月20日（金）



気仙沼市立条南中学校で須藤恵一先生が、保健体育「器械運動」の授業を行いました。生徒一人一人が挑戦したい技を選んで練習したり、組み合わせを考えたりするとともに、遅延カメラを活用したり、友達同士で動画を撮影し合ったりしながら意欲的に学習に取り組む様子が見られました。後半の研究協議では、本日の授業実践についてだけでなく、普段の保健体育科や体育科の授業づくりについての悩みなどを参加者全員で共有し、その解決方法を話し合う貴重な機会になりました。

## 初任者研修（1年目）小学校対象「事務所研修2」10月17日（火）



今回の研修は、気仙沼市立新城小学校を会場に開催しました。研修に当たり、新城小学校の畑山和浩校長先生より講話をいただきました。初任者からは、「『学ぶことが好きになる授業をつくる』という言葉が印象的だった」「子供の前に立つ教師としてあるべき姿を考えた」等の感想が寄せられました。

また、小松奈津子先生の第1学年算数科の授業を参観し、授業後には、研究協議を行いました。小松先生の授業からは、子供の問いを生かした授業づくりや教師が児童の学びを後押しする姿、学習材の工夫、授業を支える学級づくりなど、たくさんの学びがありました。

学習指導について、自分自身の授業実践を振り返りながら、真剣に話し合いに参加する初任者の姿がとても印象的でした。教師としての自覚と責任をより一層深めることのできた研修会でした。

## 初任者研修（1年目）中学校対象「事務所研修2」10月24日（火）



中学校対象の研修は、気仙沼市立新月中学校を会場に開催しました。講話では、新月中学校の宮崎明雄校長先生より、学校経営グランドデザインや学力向上の取組についての講話と初任者への励ましの言葉をいただきました。授業は、菅原光晟先生の第2学年道徳科、菊田魁先生の第3学年数学科、高橋良摩先生の第1学年保健体育科の三つの授業を提供していただきました。授業参観後の研究協議では、生徒に学習の見通しを持たせること、自分の考えを言葉で伝え合う場の設定、学習の振り返りが話題として挙げられ、熱心に話し合いが行われました。

研修の振り返りでは、生徒同士の良好な人間関係づくりや教師と生徒との信頼関係づくりについての記述が多くありました。新月中学校の先生方のお話や生徒が生き生きと活動する姿から「生徒理解」の大切さを改めて感じることであった研修会となりました。

研修を実施するにあたり、会場を提供していただきました各小・中学校の校長先生をはじめ、教職員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 令和5年度宮城県検証改善委員会報告書

令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、学校改善・授業改善に向けた取組、授業づくりのポイントを提案しています。

右のQRコードからご覧いただけます。ぜひ、校内研究・研修に役立ててください。

